

【4-4】

中国におけるソーシャルワーカーの政策実践の影響要因に関する研究

ー上海ソーシャルワーク NPO に基づく量的研究ー

○ 東京工業大学 章琦 (会員番号 1071)

キーワード：政策実践、ソーシャルワーク、NPO

1. 研究目的

ソーシャルワーク専門職のグローバル定義によって、ソーシャルワークの中核となる任務の一つである社会変革の促進が、ソーシャルワーカーから注目されるようになってきた。政策実践(Policy practice)は、ソーシャルワーカーの実践アプローチとして、1980年代にアメリカの Jenssen(1984)によって提唱され、地方、州、国レベルの立法、司法、行政の観点から政策課題に介入することで、ソーシャルワーク専門職が社会正義を推進するための可能な道筋を提供するものである。近年、政策実践の重要性を認識する世界中のソーシャルワーカーや研究者が増え、新自由主義が強まり、世界的に社会福祉問題が顕在化している現在、政策レベルでのソーシャルワーク実践の必要性は高まっている。

政策実践の概念が生まれた当初、学者たちは政策実践に理論的な裏付けを与えることに努め、世界のソーシャルワーカーがどの程度政策実践に関与しているかを分析しようと試みた。この20年間で、学者たちは、政策実践の行動を促進し、ソーシャルワーク教育に有用な示唆を与えることができる重要な変数を解剖するため、ソーシャルワーカーの政策実践の行動に影響を与える要因を分析し始めた。アメリカを筆頭とするソーシャルワークの先進国である欧米では、政策実践に関する研究が多く出てきているが、近年は南アジアなどの新しい地域でも研究が増えてきているが、全体としては欧米以外の政策実践に関する研究は少ない。

アジアで最もソーシャルワーカーが多い国である中国は、1980年代から徐々にソーシャルワーク専門職の育成を推進してきた。しかし、現段階では、中国のソーシャルワーカーに関する研究は、主にミクロレベルの援助技術に焦点が当てられており、政策実践などのマクロレベルのソーシャルワークに関する研究はほとんどない。そこで、本研究の目的は、先行研究が提示した分析モデルを利用して、量的調査を通じて、上海のソーシャルワーカーの政策実践への関与とその影響要因を検討することである。

2. 研究の視点および方法

本研究では、アメリカの学者 Verba(1995)が構築した市民ボランティアモデル(The Civic Voluntarism Model)と、イスラエルの学者 Weiss-Gal と Gal(2014)が構築した政策実践フレームワーク(The Policy Practice Engagement framework)に基づき、アンケートを作成した。そして、上海のソーシャルワークで最も重要な3つのNPOのソーシャルワーカー全員を研究対象者とした。オンラインアンケート票は、研究実施の許可を得た上で、3つの

NPOのソーシャルワーカーと管理者全員485名に配布された。このうち、475名がアンケートに完全に回答し、本研究のサンプルとなり、回答率は98.56%であった。データを取得した後、本研究ではステップワイズ回帰分析を採用し、上海のソーシャルワーカーの政策実践参加に影響を与える要因を分析した。

3. 倫理的配慮

本研究は、中国復旦大学社会発展・公共政策学院の倫理委員会から承認を得た。データは2018年6月から2018年8月の間に収集された。すべてのソーシャルワーカーは、質問票に回答する前に、書面によるインフォームドコンセントを行った。データは、M.Y. UNIONが開発したアンケートソフトウェアを使用してオンラインで収集され、回答者の匿名性が確保されている。

4. 研究結果

政策実践への参加程度は極めて低い(平均値=25.37; 標準偏差=8.02, 範囲:17-85)。上海のソーシャルワーカーが現在行っている政策実践活動は、主に組織内で行われている。上位4つは、社会(福祉)政策に関連する問題を同僚と議論する(回答者の73%)、クライアントの問題を組織の管理者に反映させる(回答者の62%)、組織の方針について機関の管理者に助言する(回答者の38%)、新聞、雑誌、ウェブサイトなどに意見または記事を掲載する(回答者の35%)でした。

5段階回帰分析の結果、政策実践の影響要因として、勤続年数($p < 0.001$)、組織からの支援($p < 0.001$)、市民的スキル($p < 0.05$)の3つが統計的に有意であることがわかった。

5. 考察

上海では、ソーシャルワーカーが政策実践に参加程度は非常に低い。政府主導のソーシャルワーク組織は、実は完全に独立したNPOではないことで、下請け業者として行動し、政策実践へのルートが狭い。

先行研究と同様に、本研究では、ソーシャルワーカーの勤続年数、組織からの支援、市民スキルが政策実践の関与に影響を与える重要な変数であり、特にソーシャルワーク組織からの支援と勤続年数がソーシャルワーカーの政策実践活動を強く左右する。

欧米の先行研究とは異なり、本研究のソーシャルワーク教育はソーシャルワーカーの政策実践に大きな影響を与えず、中国のソーシャルワーク教育は政策実践の類似マクロ知識が比較的少なく、ソーシャルワーカーが政策レベルでできる取り組みが強調されない。